

平成 24 年度緩和ケア認定看護師フォローアップ研修 アンケート結果

研修概要

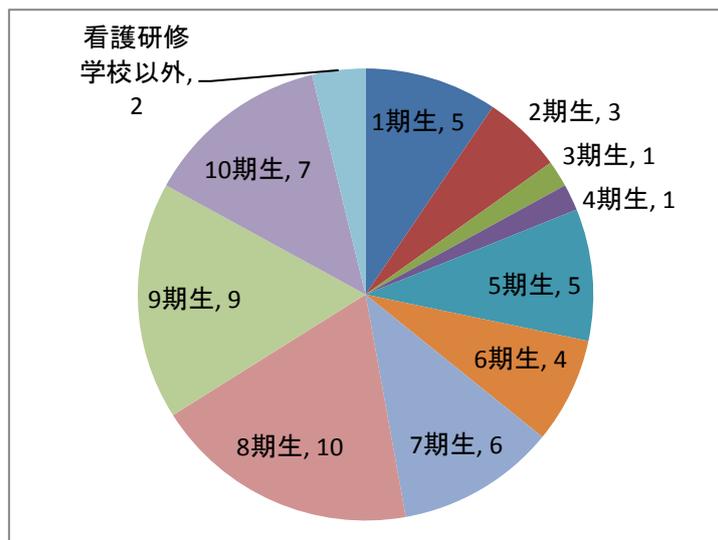
- 日 時 : 2012 年 1 月 26 日(土)10:00~16:00
 - 場 所 : 東京フォーラム 会議室 G701
 - テーマ :
 - 主 催 : 緩和ケア認定看護師連絡協議会
 - 内 容 :
 - 講演 1 「カリキュラム改訂を踏まえて、今後、緩和ケア認定看護師に求められるもの」
 - 講演 2 「非がん疾患の緩和ケア ～ALS 終末期を中心に～」
 - 講演 3 「Life に関わるということ ～緩和ケア認定看護師として～」
- 参加者総数 : 57 名(内、準備・運営係 8 名)、講師 3 名

アンケート結果 (アンケート回答数 53 名/回収率 93%)

【参加者内訳】

1. 卒業期

1 期生	5 人
2 期生	3 人
3 期生	1 人
4 期生	1 人
5 期生	5 人
6 期生	4 人
7 期生	6 人
8 期生	10 人
9 期生	9 人
10 期生	7 人
看護研修学校以外	2 人

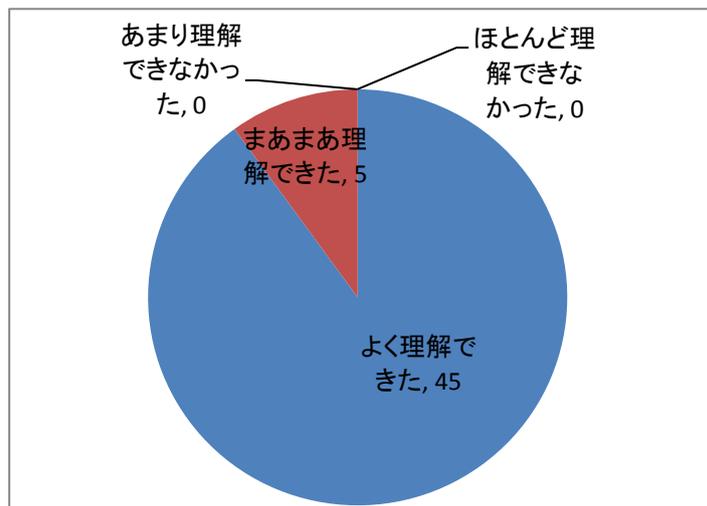


※以外の教育機関: 神奈川県看護協会緩和ケア認定教育課程卒業期 8 期、神戸研修センター卒業期 5 期

【研修内容について】

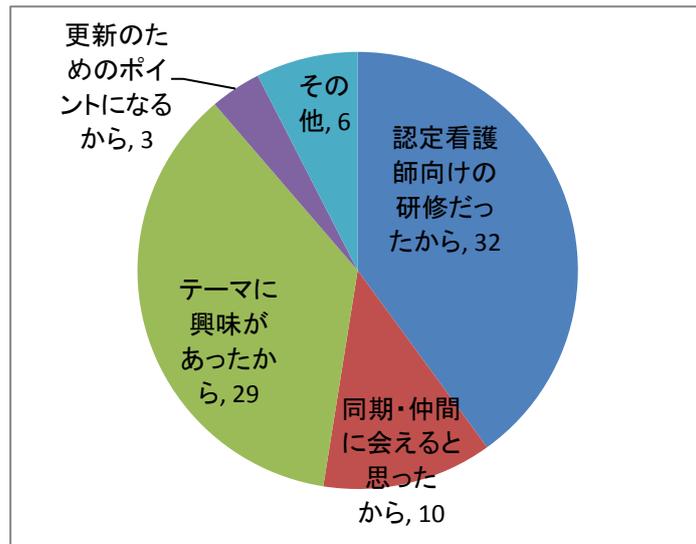
1. 研修内容は理解できましたか?

よく理解できた	45 人
まあまあ理解できた	5 人
あまり理解できなかった	0 人
ほとんど理解できなかった	0 人



2. 受講の動機はどれに近いですか。

・認定看護師向けの研修だったから	32人
同期・仲間に出会えると思ったから	10人
テーマに興味があったから	29人
更新のためのポイントになるから	3人
その他	6人

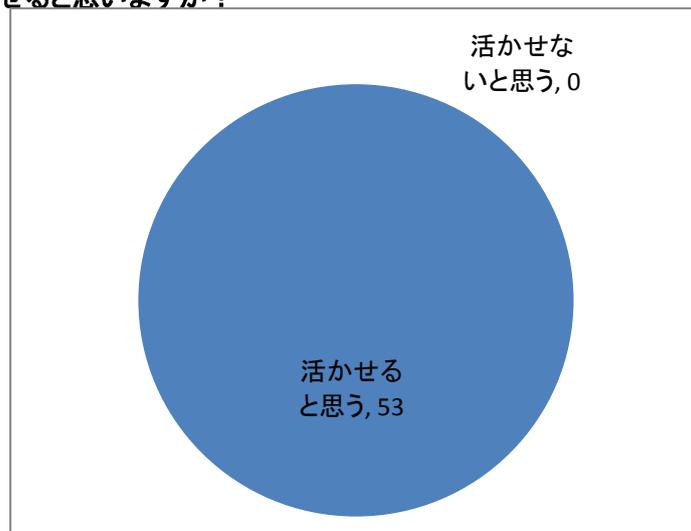


※その他の内容

- ・講師に興味あり話を聞きたかった。
- ・石垣先生の話を知りたかった。
- ・最後の研修と聞いたので。
- ・企画に参加。

3. 今日の研修は今後の臨床活動に活かせると思いますか？

活かせると思う	53人
活かせないと思う	0人



※活かせると思うコメント

- ・自分の今後の活動を考える上で参考になった。(2人)
- ・非がん疾患の緩和ケアに力を入れたいと考えていた。
- ・緩和ケアを考えるうえで非がんにも目をむける。
- ・非がん患者さんについてももっと学び検討していかなければならないと思っている。
- ・非がんの患者への看護。看護の原点、緩和ケア認定看護師になりたいと思った自分を思い出させた。
- ・緩和「医療」でなく「ケア」を行っていきたい。
- ・自分を肯定でき、めげずに頑張る。
- ・自分がつぶれないための気持ちの持ち方。
- ・具体的な内容で自分の意思決定につながった。
- ・私自身の考えやこうしたいという傾向を振り返り、再考するよい機会となった。

- ・ 自分のことを考え、自分を大切にできることを考えて、行っている看護を振り返る。
- ・ 自分自身を大切に今の自分を肯定して緩和ケアの看護を続けていきたいと思う。
- ・ 具体的に行動にということではないと思うが、いつも意識しながら看護していきたい。
- ・ 明日からの活力になった。
- ・ 日々に役立つ内容。
- ・ それぞれ興味深く拝聴した。
- ・ どれも貴重な講演ばかりだった。
- ・ 石垣先生の話聞きかたかった。
- ・ 石垣先生の言葉で明日からまた新しい気持ちで患者さんと向かい合える。
- ・ 自己研鑽にてスキルアップしなくては。(新カリの内容を知って)(横山先生)
- ・ 悲がん患者へのケアも必要。(荻野先生)
- ・ 認定看護師としての姿勢を改めて自覚。(石垣先生)

4. 今日の研修の感想をお聞かせください。

- ・ 石垣先生の話には救われる思いでいっぱいになった。
- ・ 石垣先生、感動した。
- ・ とてもリフレッシュできた。石垣先生の話はとても感動した。
- ・ 石垣先生の話はいつもモチベーションがあがり、自分を認めたいと思わせてもらえる少ない機会。
- ・ 石垣先生からたくさんの勇気と元気をいただいた。病棟の師長となり不安だらけだったが、自分を肯定しながらまた明日から頑張ろうと思った。
- ・ すごく自分自身の心が落ち着いている中での参加だった。石垣先生に力をもらったように感じている。今日の話もとても心が動いた。病院の他のスタッフが元気で頑張れるようサポートしていけたらと考えている。
- ・ どの講義もとても良く、今自分が求めているものそのものだった。私もがん以外の患者さんがなぜPCUに入れないのかと疑問に思っていた。いろんな壁をこえて、みんなが緩和ケアを受けられればいいと思う。石垣先生の講演には元気と勇気をもらった。
- ・ 活動内容を組織へ向けてどう可視化していくか、自分にできることは何か迷っている時期だったので、タイムリーな内容で良かった。石垣先生の話で、自分自身が励まされた。
- ・ 今の教育過程の考え方・指針を聞く良い機会となった。石垣先生の講義では背中を押される思いがして、自分の今の看護に自信が持てた。
- ・ 石垣先生に癒された。日本財団の補助をもらったことを改めて思い起こさせてもらえてよかった。
- ・ 今、緩和ケア分野でのトピックスに関連したものが多くとても勉強になった。石垣先生の話に今回も勇気づけられた。
- ・ 7年前の卒業となり、新しいカリキュラム内容、これから求められる緩和ケア CN のあり方がわかり、すごく参考となった。石垣先生の話では、忘れかけていたホスピスマインド、自分自身の気持ちの持ち方、看護師のモチベーション等としてもありがたい話だった。荻野先生の講義もこれからの日本の医療の考え方がわかり、とてもよかった。
- ・ 荻野先生は緩和の CN という役割を持つ自分が慢性疾患の患者への看護を考えていかなければいけないという事を確信した。石垣先生の内容では緩和ケア CN の役割を再確認した。そして看護を語る意味を表現してもらえ、モヤモヤ気持ちがスッキリした。

- ・ 荻野先生の話は全く同意見だったので、横山先生の話の中にあつた緩和ケア教育プログラムに「非がん」を入れるべきと思っている。今後も何かの形でフォローアップ研修を行って欲しいのが本音だが、せめて清瀬で行われる研修のお知らせ等行ってもらえると助かる。
- ・ 非がん疾患の緩和ケアの話はとても興味深かった。本来の意味での緩和ケアを考えると、共感できる内容であった。石垣先生の話は緩和ケア CN として症例がなく看護師としてどうしていくべきか根本的なことを考えさせられた。とても貴重な話だった。
- ・ 忙しい毎日だからこそ、時間を作って研修に出かけている。じっとしていても変わらないけど、外に向かうことで何か新しいものが得られると思うから。今回も非がんの緩和ケアについて考える機会になった。石垣先生の話からは、基本に戻り明日から仕切り直しのきっかけになった。
- ・ カリキュラムの改訂の内容を聞くことで、改めて気持ちがひきまう思いだった。より具体的なものを求められていること、今の自分に不足しているものも今までより明確になった。がん以外の緩和ケアにも目を向ける必要があると気づく機会になった。石垣先生の話は、心に留めていつまでも振り返りたいと思う。
- ・ 緩和ケア CN としてのこれからを考えることに加え、看護の原点に帰れた気もした。
- ・ ALS のこと大変興味深くもっと学びたいと思った。
- ・ 新人の時は脳内病棟で働いていたので、ALS の話はいろいろなことを思い出した。今緩和ケアをたずさわる立場として、まだまだできる事があると感じる。次年度の活動に生かしていきたいと思う。
- ・ 「非がん疾患の緩和ケア」の講義をもっと長い時間で聞きたかったと思った。緩和ケアを目指した頃の初心を思い出すことができた。
- ・ 原点(緩和ケアを始めた時の)に戻ることができた。つらいことばかりだが、自分らしく長い道のりの中で実現できることをみつけていこうと思う。
- ・ 緩和ケアチームはないが、周りの人達に助けられながらがんばって仕事をしている。しかし、“これでいいのかな”と思ったり、ひきずったりしながらでも自分は自分らしく力を発揮して、きちんと患者・家族と向き合って関わっていけばよいのだと思った。
- ・ 3つの講演を聞いて改めて緩和ケアのマインドを大切にしながら、自分にできることを積み重ねていきたいと思った。
- ・ どの講義の内容も印象的だった。新しい年度に向けて、これからの活動に活かしたり新たな気持ちで、自身の活動に取り組んでいきたいと思った。
- ・ 講演 1~3 全て勉強になり、いろいろ感じることができ、明日への活力になった。
- ・ どの講義も興味深く聞くことができた。
- ・ どの先生も素晴らしかった。来てもらってよかった。
- ・ 自分自身の反省や気づきが学びになり、これからの新たな目標をまた見極めつつ、ケアの質、人としての存在感・価値観を高めていけたらと思った。
- ・ 本日学んだことを伝達講習だったり、様々な形で自施設に還元したいと思う。
- ・ 清瀬で必死になっていた毎日を思い出した。十分に発揮した仕事はできていないけど頑張らねばと思った。
- ・ 自分のしていかなければならないことを、再確認させてもらった。
- ・ とてもためになる研修だった。組織というところではなく、組織の中で自分らしくあるためにどう行動するかを考えていきたい。
- ・ 明日からまた頑張れそう。
- ・ 明日への力になった。

- ・ 今後の活動のきっかけにさせてもらいたいと思う。今回で研修が終了になってしまうことが残念。
- ・ フォローアップ研修が終了することは残念。特に石垣先生の講演は何度聞いても明日からの自分のやる気を起こしてくれるエネルギーになる。
- ・ 素晴らしい講演だった。最後のフォローアップセミナーで石垣先生の話聞く機会はとても意味あることだと思った。
- ・ 同窓会としてのフォローアップ研修が今年で終わってしまうのはたいへん残念。最後に石垣先生から、自分らしくあり続けていくために…というテーマをもらった気がする。認定としての節目になっている時期で参加してよかった。
- ・ 最後の研修、残念だがとても感動をもらった内容だった。がん以外の方へのケアや緩和ケアの大きさ難しさ可能性いろいろ感じた。石垣先生の話は毎日元気になれる感じがする。
- ・ 石垣先生の話聞くことができ、またこれまで多くの先輩方に支えられてきたことを実感し、改めて明日からも頑張れる意欲を持つことができた。同窓会として組織としての活動ということでは一旦お休みになり、こういった機会も減るのかと思うと、大変残念な気がする。
- ・ 最後で残念だが、とても有意義な一日だった。
- ・ 数年のブランクがあり、今年より復帰した。できないことばかりで戸惑いも多く反対に期待されることも多くあり、そのギャップに自分としてどうあるべきかと思っていた。今のありのままの自分を認め、目の前の患者さん1人1人から向き合い・積み重ねていきたいと動機づけになった。
- ・ 今後も何かの形でフォローアップ研修があることを期待する。
- ・ 1期生の担当者の皆様、7期生の千葉様、最後のフォローアップ研修、企画運営ありがとうございました。とても内容の濃い、学びや心に響く研修でした。